



2025

東北農政局入省案内

《一般職》 農業農村工学（大卒程度）／農業土木（高卒者）

東北の農業・
農村を支える



BUZZMAFF 動画集

MAFF

Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries

東北の未来を繋ぐ『あなた』へ

- ・農業を次の世代に引き継ぐにはどうしたらいいだろう。
- ・若者が活躍できる農業にはどんな整備が必要だろう。
- ・近年多発する自然災害から、どのようにして農村や施設を守ったらいいだろう。

あなたは東北の未来をどう切り拓きますか？

昔は「不毛の地」と言われていた地域でも、土地を切り拓き、水を引くことで安定的に農業用水を供給できる環境を創り、東北は多くの農産物が生産される国内有数の食料基地となりました。

東北のブランド米、りんごやさくらんぼなどの果物、にんにくやながいもなどの野菜は、地域の人々の努力と伝統で育まれてきました。また、農業の発展は地域社会の形成に貢献してきました。

しかし現在では、農業水利施設の老朽化、高齢化による担い手不足、多発する豪雨や地震による被害の増加・・・まだまだ解決すべき課題がたくさんあります。

これらの課題を解決するため、「今の施設をより使いやすく造り替える」、「スマート農業ができる環境を整える」、「近年の豪雨にも耐えられるように排水ポンプを強化する」が必要です。このような取組を通して、私たちは東北の豊かな農業と地域の方々の笑顔を未来の子どもたちに継承していきたいと思っています。

あなたの思いは、必ず地域の力になる。人々に伝える。

新しい技術をもって挑戦し、「農業」と「農村」を振興する。

東北の未来に向かって、あなたにも、その一員になってほしい。

『未来の同僚たち』より



VISION STATEMENT

ビジョン・ステートメント

わたしたち農林水産省は、
いのち
生命を支える「食」と安心して暮らせる「環境」を
未来の子どもたちに継承していくことを使命として、
常に国民の期待を正面から受けとめ
時代の変化を見通して政策を提案し、
その実現に向けて全力で行動します。

東北農政局 YouTube



BUZZMAFF 動画集



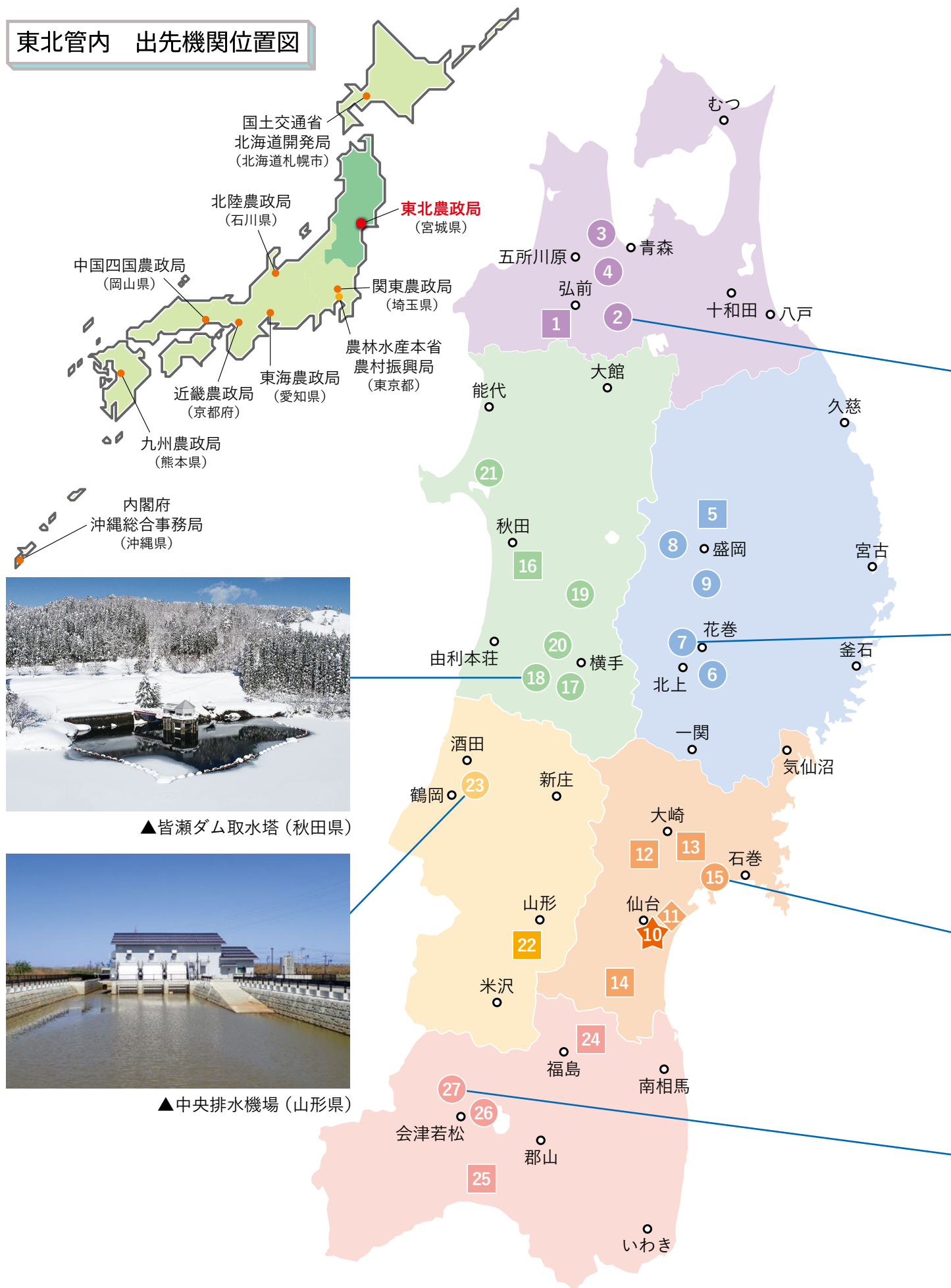
東北の農林水産業を楽しく幅広く紹介!!

CONTENTS

01	東北農政局とは	P.3-6	06	ワークライフバランス/新しい働き方	P.25-26
	東北管内 出先機関位置図	P.3-4			
	組織図	P.5-6	07	研修制度	P.27
02	東北農政局の業務	P.7-10	08	Q & A	P.28
	農業・農村の振興	P.7-8	09	採用試験	P.29-30
	国と地方との役割分担	P.9		採用者の声	P.31-32
	国営事業に関する業務	P.10	10	進路	P.33
03	海外技術協力	P.11-12		アクセス	P.34
04	災害への対応	P.13-14			
05	キャリアパス	P.15-18			
	若手職員の日	P.19-20			
	若手職員の声	P.21-24			

東北管内 出先機関位置図

01



東北農政局では、農林水産省の地方出先機関として、東北地方（青森県、岩手県、宮城県、秋田県、山形県、福島県）を所管しています。

東北農政局には、東北農政局本局、4 土地改良調査管理事務所、16 国営事業所、土地改良技術事務所が所在し、それぞれ国営事業の実施や、施設の管理、事業計画立案等を担当しています。

* 令和 7 年 1 月時点



▲小阿弥幹線用水路（青森県）



▲豊沢ダム（岩手県）



▲中区機場（宮城県）



▲八方頭首工（福島県）

青森県	1	北奥羽土地改良調査管理事務所（弘前市）	
	2	津軽土地改良建設事務所（黒石市）	浅瀬石川二期
	3	津軽北部二期農業水利事業建設所（中泊町）	津軽北部二期
	4	十三湖農地防災事業建設所（五所川原市）	十三湖
岩手県	5	北上土地改良調査管理事務所（盛岡市）	盛岡南部、雫石川沿岸
	6	和賀中央農業水利事業所（北上市）	和賀中央
	7	豊沢川農業水利事業建設所（花巻市）	豊沢川
	8	岩手山麓農業水利事業所（滝沢市）	岩手山麓
	9	山王海葛丸農業水利事業所（紫波町）	山王海葛丸
宮城県	10	東北農政局（仙台市）	
	11	土地改良技術事務所（仙台市）	
	12	北上土地改良調査管理事務所	宮城支所（大崎市）
	13	〃	旧迫川支所（涌谷町） 旧迫川
	14	阿武隈土地改良調査管理事務所	角田支所（角田市） 角田
秋田県	15	河南二期農業水利事業所（石巻市）	河南二期
	16	西奥羽土地改良調査管理事務所（秋田市）	
	17	平鹿平野農業水利事業所（横手市）	横手西部
	18	成瀬皆瀬農業水利事業建設所（横手市）	成瀬皆瀬
	19	田沢二期農業水利事業所（大仙市）	田沢二期
	20	旭川農業水利事業所（横手市）	旭川
	21	八郎潟農業水利事業所（大潟村）	八郎潟
山形県	22	西奥羽土地改良調査管理事務所	最上川支所（山形市）
	23	最上川下流左岸農業水利事業所（庄内町）	最上川下流左岸
福島県	24	阿武隈土地改良調査管理事務所（福島市）	母畑、雄国山麓
	25	〃	羽鳥ダム管理所（天栄村）
	26	会津南部農業水利事業所（会津若松市）	会津南部
	27	会津北部農業水利事業建設所（喜多方市）	会津北部
1		土地改良調査管理事務所・支所（所在地）	— 国営かんがい排水事業 — 国営総合農地防災事業
1		国営事業所（所在地）	

農林水産省（本省）は、全国的な視点に立って、食料・農業・農村に関する各種施策などを企画・立案し、財務省に対する予算要求や、法令の制定等を通じた制度設計を行っています。

組 織 図

農林水産省（本省）

大臣官房

消費・安全局

輸出・国際局

農産局

畜産局

経営局

農村振興局

東北農政局

（地方農政局）

関東農政局

北陸農政局

東海農政局

近畿農政局

中国四国農政局

九州農政局

東北農政局は、東北6県を管轄し、本省で企画・立案された施策が地域の実情に合わせた的確に実施されるよう、県や市町村を指導・助言するとともに、それぞれの地域が抱える課題やニーズをくみ取ります。

また、農業の持続的な発展に向けて、生産性の向上を図る国営土地改良事業を実施します。

企画調整室

- 農政局が所掌する各種施策に関する企画・総合調整、広報・報道活動、農畜産物等の災害対策のとりまとめ、農畜産物・飲食料品等の物価対策、農政全般に関する情報発信・収集及び相談対応等の事務。

総務部

- 公文書管理、職員の人事・給与・福利厚生、一般会計・特別会計の経理、国有財産の管理等の事務。

消費・安全部

- 消費者行政、食品表示法に基づく食品表示の監視、食育の推進、米穀の流通監視、農薬・肥料・飼料等の使用の適正化、牛トレーサビリティ等の事務。

生産部

- 農畜産物の生産振興等に関する各種指導・助成、米の需給調整、主要食糧の売買・管理、地方競馬監督、各種生産技術対策や環境保全型農業の推進等の事務、経営所得安定対策等の推進及び交付金事務。

経営・事業支援部

- 農業の担い手の育成を始めとする農業経営の改善・安定、輸出の促進、食品産業の育成・振興、農地政策の推進、新規就農の促進や女性の活動促進、農業分野における外国人材受入れ制度の周知等の事務。

農村振興部

- 農業農村整備事業、農業水利の調整、多面的機能支払交付金、中山間直接支払交付金、農業振興地域制度、農地転用許可、都市農村交流、農山村地域の活性化、農山漁村発イノベーション、農泊推進、農福連携、土地改良区の指導・監督、鳥獣害対策等の事務。

統計部

- 農林水産行政に必要な農林水産業及び農林漁家に関する統計調査の実施やとりまとめ、その結果の提供に関する事務。

東北農政局

農業農村工学（農業土木）区分で採用されると、主に農業・農村の振興に関わる業務を担当します。東北管内における個性と活力のある豊かな農業・農村の実現を目指し、地域の特性に応じた農業関連施策を推進することにより、皆さんの仕事が地域社会の発展に直接つながります。

農村振興部

設計課

土地改良事業の工事の設計・技術審査・指導・計画基準の作成、河川協議・水利権に係る他省庁との連絡調整等の事務。

農村計画課

農業振興地域整備計画その他農山漁村の総合的な振興計画の作成、都市計画との農林漁業調整、農地の転用、市民農園の整備、中山間地域等直接支払制度等の事務。

都市農村交流課

都市農村交流、農山漁村発イノベーション、農泊推進、農福連携等の事務。

土地改良管理課

土地改良区等の指導・監督、土地改良事業の手続・融資・事後評価、農用地の交換分合・換地等の事務。

農村環境課

土地改良事業に係る環境の保全に関する調査、地質・地下水等の調査、鳥獣害の防止対策等の事務。

事業計画課

国が行う土地改良事業地区等の調査・計画作成、県・団体が行う農地等の整備、農村整備、かんがい排水・防災等に関する事業計画地区の審査・指導等の事務。

用地課

国が行う土地改良事業の用に供する土地等の買収・使用やこれに伴う損失補償、土地改良事業等により造成された施設等の事業実施中における管理・処分等の事務。

土地改良調査管理事務所

○国営土地改良事業に必要な調査や計画の立案等

国営事業所

○国営土地改良事業の実施

土地改良技術事務所

○土地改良事業の実施に必要な技術支援や積算システムの運用等

水利整備課

国が行うかんがい排水事業の実施、県・団体が行うかんがい排水事業の指導・助言・助成、土地改良財産の管理等の事務。

農地整備課

国が行う農地再編整備事業等の実施、県・団体が行う農地整備事業、多面的機能支払、土地改良事業に係る営農等の指導・助言・助成等の事務。

地域整備課

県・団体が行う農村整備（農業集落排水、農道）、農山漁村活性化に係る交付金（情報通信環境整備対策を含む）の実施等の指導・助言・助成等の事務。

防災課

国や県などが行う農地・農業用施設災害復旧事業等に関するもののほか、国が行う総合農地防災事業、県や団体が行う農村地域防災減災事業の指導・助言・助成等の事務。

各課の仕事の詳細は…
ホームページをチェック！
「東北農政局農村振興部のご案内」



農業土木職員の配属先

その他（他省庁・市町村出向等）
36名（11.6%）

本省 24名
（7.7%）

全体
311名

東北農政局
251名（80.7%）

土地改良技術事務所
21名（8.4%）

東北農政局本局
65名（25.9%）

土地改良調査管理
事務所 64名
（25.5%）

全体
251名

国営事業所
101名（40.2%）

※令和6年11月時点

農業・農村の振興

農業農村工学（農業土木）で採用されると、「農業農村整備事業」の実施を通じた農村振興に関する業務を担当します。

農業・農村をめぐる情勢は厳しさを増しつつあります。少子高齢化・人口減少に伴う農業者や農地面積の減少、地球温暖化の進行に伴う大規模自然災害の頻発化・激甚化、農産物・食品に対する消費者や実需者のニーズの多様化といったことに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大、多国間経済連携協定（TPP、日EU・EPA、RCEP）によるグローバル化の進展など、新たな課題に直面しています。一方、SDGs（持続可能な開発目標）への関心の高まりやSociety5.0時代の到来を踏まえ、次世代を担う若者が活躍する魅力ある農業とその成長を後押しすることが求められています。

私たちは、地域の将来を見通しながら、農業農村整備事業を通じて農業・農村の可能性を広げ、持続的に発展する農業と多様な人が住み続けられる農村の実現に向けた施策の推進に取り組んでいます。

農業の成長産業化

農地の大区画化による生産コストの削減や水田の汎用化・畑地化のための基盤整備等を推進し、野菜などの高収益作物への転換を推進しています。

農村の振興

多様な人が住み続けられる農村の振興のため、所得と雇用機会の確保、農村に人が住み続けるための条件整備、農村を支える活力の創出に取り組んでいます。

既存の農業水利施設の長寿命化対策や耐震化対策等のハード対策とともに、ハザードマップの作成等のソフト対策を組み合わせた農村の強靱化に取り組んでいます。

農業・農村の強靱化

農業農村整備事業では、産業政策の視点として「生産基盤の強化による農業の成長産業化」、地域政策の視点として「多様な人が住み続けられる農村の振興」、両施策を支える視点として「農業・農村の強靱化」を3つの柱として施策を展開しています。

Tips

SDGs（持続可能な開発目標）とは

2015年9月の国連サミットで採択された2030年までの国際目標。開発途上国の開発に関する課題にとどまらず、世界全体の経済、社会及び環境の3側面を横断的に盛り込んでおり、持続可能でよりよい世界の実現を目指しています。開発途上国だけでなく先進国自身が取り組むこととされています。



Society5.0とは

サイバー空間（仮想空間）とフィジカル空間（現実空間）を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会（Society）。

農業農村工学分野では、IoT、ロボット、人工知能（AI）、ビッグデータ等の先端技術を取り入れたスマート農業の実現に向け、自動走行農機に対応したほ場の大区画化等、スマート農業の実装を可能とする基盤整備を進めています。





SDGs への貢献



飢餓を終わらせ、食料安全保障及び栄養改善を実現し、持続可能な農業を促進する



強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る



持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する



すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する



陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する

農業の成長産業化



▲FOEAS実証ほ場（宮城県美里町）

地下水水位制御システム「FOEAS」の導入で土壌水分の適切な調整ができます。

▼大区画ほ場及び園芸メガ団地（秋田県大仙市）

園芸メガ団地整備と連携したほ場整備の実施を支援し、効率的で収益性の高い農業経営を推進しています。



▼農村交流活動（岩手県洋野町）

農村地域における施設の保全活動や地域住民との交流活動を支援しています。



農村の振興



▲棚田地域の振興（山形県大蔵村）

棚田を保全し、棚田地域の有する多面的機能の維持増進を図るため、棚田を核とした地域振興の取組を総合的に支援しています。

農業・農村の強靱化



▲大柿ダム（福島県請戸川地区）

東北地方太平洋沖地震により、堤体天端等に亀裂が発生し、復旧工事（再盛立）を行いました。

▼芦野頭首工改修工事（青森県十三湖地区）

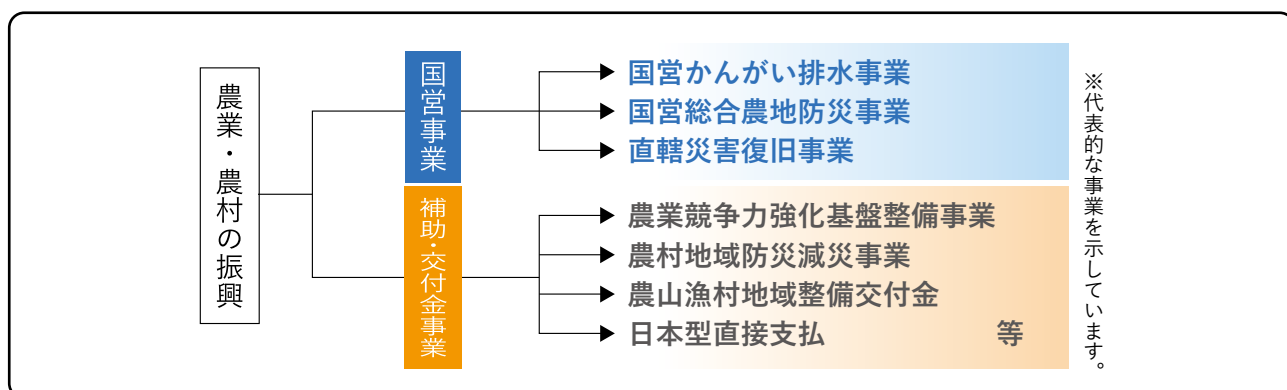
築造後約50年が経過し、機能が低下しており、頭首工の転倒等による広域的な災害の発生が懸念されているため、改築を行っています。



国と地方との役割分担

- 農業農村整備は、国が直接実施する国営事業、地方（県、市町村等）が実施主体となる補助事業など、事業の規模や目的に応じ、国と地方が役割を分担して行われます。

02



国営事業に関する業務

- 東北農政局が行う国営土地改良事業は、土地改良調査管理事務所が事業の調査・計画を行い、国営事業所等が土地改良技術事務所から技術的な支援を受けて実施されています。

土地改良調査管理事務所

◆ 農家の申請

◆ 調査・計画

施設の機能診断



地元要望の 聞き取り



関係機関との 打合せ



事業計画書の作成

土地改良事業は、農業者からの申請を基に実施されます。

事業実施のため、計画を策定します。

地域農業の状況や将来展望、施設の状態等を考慮しつつ、関係する機関（国、県、市町村、土地改良区等）との調整を行い、事業計画を策定します。



機能診断の様子



関係機関との打合せ

国営事業所・建設所 土地改良技術事務所

◆ 事業実施

工事の設計



地元説明



工事の積算・発注



工事の監督・検査

◆ 施設の管理 (管理委託等)

工事の実施に当たっては、施設諸元等の「設計」、受益者や工事用地周辺住民等の関係者への「地元説明」、工事施工業者を決定するための「積算・工事発注」、工事着手後は仕様どおりの施工となっているか確認するための「監督・検査」を実施します。



地元説明会の様子



工事の様子

補助事業等に関する業務

- 国営事業のほかにも、県や市町村等が主体となって実施する県営事業や団体営事業に対して財政的な助成を行い、農業生産基盤の高度化や農村生活環境の向上等に向けて支援しています。
- 補助事業も事業実施の流れは国営事業と同様です。国営事業と補助事業が一体的に効果を発揮することにより、安定した農業生産を可能とするインフラとして機能します。

《農政局の役割》

- 農政局は、県や市町村等が行う事業について、申請書類の審査や補助金の交付、技術的な支援など、計画から完了にわたり、指導・助言等を行います。



事業に対する指導・助言

我が国が持つ農林水産分野における 専門的な知見を活用し

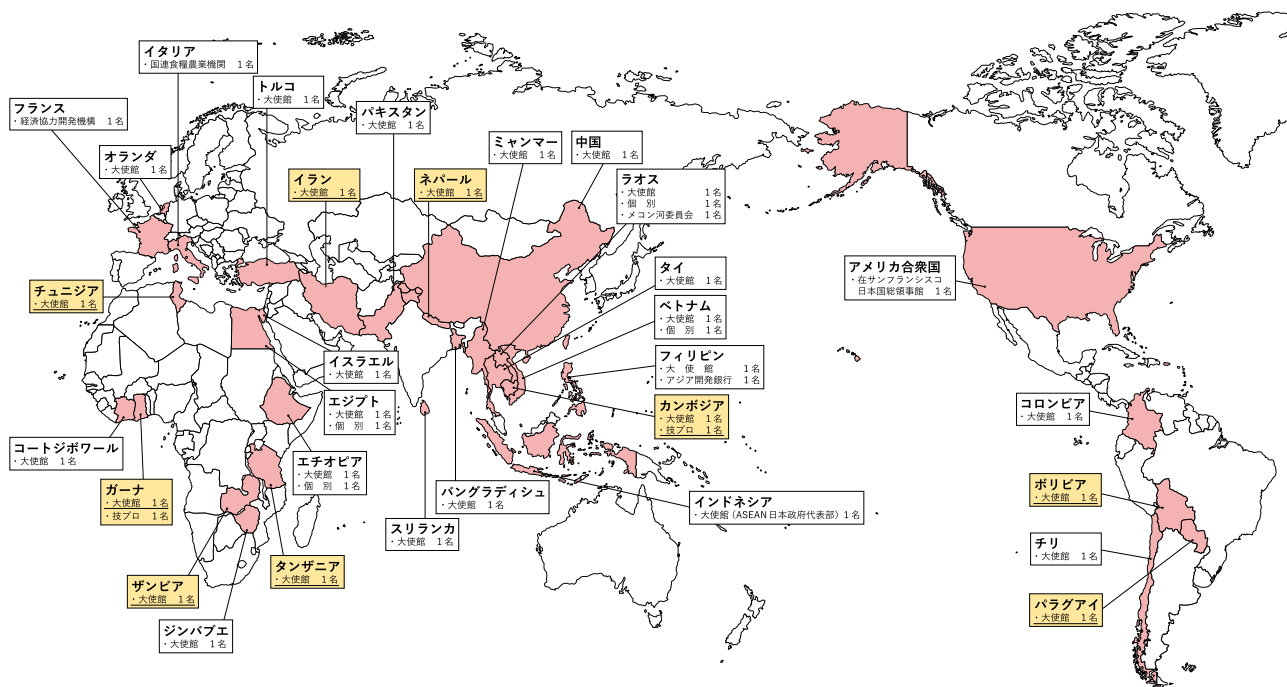


世界の食料安全保障の確立に貢献

農林水産省では、関係省庁とも連携しつつ、開発途上国の自立的な経済発展を支援するため、さまざまな形態による農林水産分野の協力を行っています。

農業分野ではアジア・アフリカの開発途上国において、かんがい排水分野を中心とした日本の優れた先進的技術を活用した農業農村開発技術によって、それぞれの地域の課題解決に貢献します。

[2024年10月1日時点]



■：農村振興局からの派遣者が赴任している国 (■：一般職 9人)	
在外公館：大使館、総領事館	29人
JICA：個別（現地政府への派遣専門家）	4人
技プロ（技術協力プロジェクト専門家）	2人
国際機関：メコン河委員会、アジア開発銀行	
国連食糧農業機関、経済協力開発機構	4人
合 計	39人

注：資金協力（無償・有償）、短期専門家、調査団、国際交流、研修・セミナーは含まない。

在外公館（書記官）

- 外交官としての様々な任務
- ODA（政府開発援助）の企画・実施管理、農山物交渉の調整等

JICA 専門家

- 現地政府機関等の政策アドバイザー
- 技術協力プロジェクトの専門家（灌漑、水管理等）

国際機関

- 各国際機関の職員として、飢餓・水不足等の世界的な問題の解決に向けた支援

海外派遣の条件

海外で勤務するためには、語学力、専門知識や海外勤務に関する基礎知識を有している必要があり、これらの知識をさらに向上させるための研修も用意されています。

	語学力	研修制度
在外公館 書記官	TOEIC 730点以上	外務省が実施する研修 3か月
JICA 専門家	TOEIC 640点以上	専門家赴任前研修 2か月

在外公館（書記官）



遠藤 敏之

Toshiyuki Endo

在ネパール日本国大使館

派遣先：ネパール

派遣期間：3年（2023-25年）

主な仕事内容

在ネパール日本国大使館の経済協力担当書記官として、主に農林水産・環境・栄養・保健医療分野の日本からの資金協力やJICAの技術協力（研修・技術プロジェクト・専門家派遣等）に係る政府間協議・調整及び現地で活動するNGO等への支援を業務としています。

在外公館としてのやりがい

対外的には常に日本政府を代表する立場としての対応を求められます。課題の解決に向けてどのように進めるべきか、赴任国政府や関係者との協議・調整では、妥協できない困難な場面にも遭遇します。日本とは違う行政システム、経済社会、技術力等の実情を身近で感じ、この国の発展と日本との関係の強化に対して、自分がどのくらい寄与することができるかを考えながら日々取り組んでいます。

海外での生活について

ネパールは小さい国でありながら標高差世界一、世界最高峰エベレストを有するヒマラヤの山々は眺めるだけでも圧巻です。その他にも、旧王国時代の史跡など観光資源が豊富な国です。普段の生活そのものが海外旅行みたいなもの。毎度出かける先々でいろいろな発見を楽しんでいます。



国際機関とネパール政府共催のイベントにて、日本大使館代表として出席

03

主な仕事内容

JICA専門家として、カンボジアにおける頭首工と水路工の国家標準設計基準の策定に携わっています。統一的な設計基準のないカンボジアのかんがい施設は、設計上の不備や老朽化などにより機能低下が深刻で、かんがい面積を効率的に増大するため、カンボジアの実態に適合する設計基準が必要とされています。

JICA専門家としてのやりがい

カンボジアに密着した技術協力に向け、政府関係者や他国の開発パートナー等と頻りにやりとりしながら、活動しています。これまでの経験や知識を派遣国で活かせること、日々の生活を通して派遣国を肌で感じる経験は、きっと私のこれからや将来につながります。

JICA専門家



大山 栄

Sakae Ohyama

JICA専門家

カンボジア王国水資源気象省

派遣先：カンボジア王国

派遣期間：1.5年（2024-26年）

海外での生活について

日本では、なかなか会うことのない日本の有名人に会えることがあります。以前の大使馆勤務時代に、紺野美沙子さんや瀬古利彦さんなどと一緒にしました。これから、どんな有名人に会えるか、楽しみです。



設計基準策定に向けた水資源気象省幹部（副次官と局長）との事前打合せ（右から2番目）

東日本大震災への対応

平成23年の東日本大震災による津波等により被害を受けた宮城県、福島県では、直轄災害復旧事業（国営事業等により造成された農地・農業用施設の災害復旧を国が行うもの）を実施し、令和5年度までに全12地区（津波被災6地区、地震被災6地区）が完了しています。

東北管内の国直轄災害復旧事業地区（令和6年3月末時点）

※国直轄事業とは、国自らが実施する事業



仙台東地区の復興

～直轄災害復旧関連区画整理事業の竣工～



動画はこちらから

<https://www.youtube.com/watch?v=b09A4dVc19M>

【▼大柵ダム天端の被災及び再盛立状況】



【排水機場の復旧の流れ】

応急用ポンプ設置

水路のがれき処理

排水機場の仮応急復旧

排水路・排水機場の本格復旧



近年の災害への対応

大雨による災害への対応（自治体等への支援）

MAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）

東北農政局では、大雨や地震等により農地・農業用施設が被災した際、被災自治体に職員を派遣し、迅速な被害の把握や早期復旧を支援しています。

令和6年7月24日からの大雨により秋田県及び山形県で過去最大の被害が発生した際は、延べ284人・日の職員を派遣し、自治体等への支援を実施しました。

被災状況調査・復旧支援

道路寸断で被災状況調査不可能な地域でのヘリコプターによる被災状況調査や大規模な被災箇所での技術支援などを実施しました。



ヘリコプターによる被災状況調査
（秋田県にかほ市・由利本荘市）



土砂崩落現場での技術支援
（秋田県にかほ市）



復旧技術支援での町長との打合せ
（山形県舟形町）

災害応急用ポンプの貸出

土地改良技術事務所及び他の農政局で所有している災害応急用ポンプを機場の浸水被害や水路の閉塞被害があった自治体や土地改良区等（秋田県内及び山形県内）に、延べ45台を貸出し、農業用水の暫定取水などの支援を実施しました。



被災頭首工でのポンプ車の配備状況
（秋田県横手市）



ポンプの設置支援
（秋田県横手市）



ポンプによる暫定取水
（秋田県横手市）

地震による災害への対応（直轄災害復旧）

令和3年2月13日深夜、福島県沖を震源とする最大震度6強の地震が発生し、東北管内の農地・農業用施設等の被災は約891箇所、約41.5億円（新潟県、栃木県を含む）にのびました。

福島県矢吹町内等に埋設されている国営限戸川農業水利事業で造成した幹線用水路（パイプライン）では、漏水が発生し、令和3年度の営農に間に合わない可能性もありましたが、直轄災害復旧事業での早期の復旧により令和3年5月に営農開始することができました。



▲道路下に埋設された幹線用水路からの漏水に伴う土砂流出等による道路陥没が発生
【令和3年2月】



▲直轄災害復旧事業による幹線用水路の復旧

幹線用水路復旧後の
通水により、
令和3年5月
営農再開！

よしだ
吉田
かおり
香

東北農政局と一緒に働いてみませんか？
大学で学んだことを活かせる、仕事です。

学生へのメッセージ！

入省の動機

大学で学んだ「水に関わる仕事がしたい」と思い、農林水産省に入省しました。

大学3年生の時、インターンシップで他の農政局にお世話になり、国民の食料生産を支える農業インフラの整備や国土の保全という大切な役割を担っている仕事であると知ったのがきっかけです。



入省：23年目／**出身地：**宮城県仙台市
担当業務：県や市町村等が実施する農地や用水路などを整備する交付金の予算要求や執行管理、新規地区採択、事業実施に関する助言等の業務を担当しています。

係員 → 係長 → 専門官・補佐 → 所長・課長

H14 入省

東北農政局
寒河江川下流農業
水利事業所

H20 係長昇任

東北農政局
最上川下流沿岸農業
水利事業所最上支所

産前産後休暇及び 育児休業取得

・H22年12月～H24年8月
・H25年7月～H26年8月

H27

東北農政局
土地改良技術
事務所
保全技術課

現職 R6

東北農政局農村振興部
地域整備課
情報通信整備係長

経歴

くまがい
熊谷
みきお
幹夫

農業に貢献でき、自身も成長できます！
多様なキャリアと働き方で

学生へのメッセージ！

入省の動機

実家が農業を営んでおり、両親の働く姿や農作業の手伝いの経験を通じて農業の魅力や大変さを感じていました。短大で農業土木を学び、農業者が農業を続けられるような生産基盤の整備に携わりたいと思うようになり、農林水産省に入省しました。



入省：21年目／**出身地：**宮城県栗原市
担当業務：政府開発援助の農業農村開発分野の案件形成に繋がる調査や外務省との協議のほか、農村振興局から職員をJICA専門家に派遣する手続き、海外派遣職員の窓口業務などを担当しています。

係員 → 係長 → 専門官・補佐 → 所長・課長

H16 入省

東北農政局
男鹿東部農地防
災事業所

H26 係長昇任

東北農政局
赤川農業水利事業所
工事第一課

育児休業取得

・H26年8月～H26年10月

R2

東北農政局
農村振興部
地域整備課

現職 R5

農林水産省
農村振興局整備部
設計課海外土地改良
技術室海外技術班
海外技術調整係長

経歴

この職場でよかった！と思ったこと

施設を改修した後に農家の方から感謝の言葉をかけていただいたことです。現地調査や工事中、現場で声をかけていただくことも多いです。地元の方の思いを聞く度に応えたい思いが強くなります。

仕事を行ううえで大切にしていること

自分にとっては永遠の課題なのですが、スピード感をもって仕事をする。時間が限られているなかで効率性をあげるための優先順位の設定や段取りを大切にしています。



今野の

愛

入 省：27年目／出身地：福島県福島市

担当業務：用水路など施設を改修するための工事の設計積算、現場監督を担当しています。過去に漏水事故が発生したことを契機として事業を開始しました。地元から早期改修が望まれています。

係員

係長

専門官・補佐

所長・課長

05

経歴

H10 入省

東北農政局
八戸平原開拓建設事業所

H16 係長昇任

東北農政局
北上土地改良調査
管理事務所
計画課

産前産後休暇及び
育児休業取得

・H16年 12月～H18年 2月
・H19年 3月～H19年 12月
・H23年 6月～H24年 3月
・H26年 10月～H27年 9月

R5 専門官昇任（現職）

東北農政局
北上土地改良調査
管理事務所
施設再編専門官

この職場でよかったと思ったこと

規模の大きい工事に携わることで、大手ゼネコンの技術力を身近で感じ、技術者としての視野が広がるとともに、己の向上心が得られたことです。

仕事を行ううえで大切にしていること

職員とのコミュニケーションを大切に感じており、相談しやすい環境づくりに努めるため、風通しの良い職場づくりを常に意識しています。



佐藤の

誠一

入 省：33年目／出身地：秋田県五城目町

担当業務：主に2011年の東日本大震災により被災した12市町村へ対するサポートなど福島県の復旧・復興に関する業務の他、課内における総務全般に関する業務に携わっています。

係員

係長

専門官・補佐

所長・課長

経歴

H4 入省

東北農政局
津軽土地改良調査
管理事務所

H8

沖縄総合事務局
宮古島農業
水利事業所
工事第一課

H14 係長昇任

東北農政局
相坂川左岸農業
水利事業所
工事第二課

R3 専門官昇任

東北農政局
田沢二期農業
水利事業所
環境専門官

現職 R5
東北農政局
防災課
課長補佐

佐々木 世界幸

学生へのメッセージ！

大袈裟になるかもしれませんが、土地改良は国民の生命(いのち)を支える「食」を確保するための重要な仕事で、その必要性は将来も変わることはありません。ぜひ、一緒にやりがいを感じながら働きませんか！

入 省：42年目／出身地：秋田県五城目町

担当業務：日本のモデル農村建設を目指し実施された国営八郎潟干拓事業等（S32～S51）で造成された施設のうち幹線用水路等を更新する国営かんがい排水事業八郎潟地区の事業実施を担当しています。

係員

係長

専門官・補佐

所長・課長



これまでの仕事で大変だったこと

まだ、30代前半の若手だった頃、担当しているダム建設工事において生じた課題とその対策等について、専門家である大学の先生方にご意見を伺う、通称ダム委員会での説明はもの凄く緊張しました。そういった施設が有効に活用され地域の農業振興に寄与しているのを見聞きする機会があるたびに、この仕事に携わって本当に良かったと感じます。

仕事を行ううえで大切にしていること

私たちの仕事は、施設を管理する土地改良区やそれらを活用し農作物を生産する農家の皆さん等多くの人々が関係しています。そのため、単に土木構造物として施設を整備するのではなく、関係者との意見交換や工夫により利用しやすい施設を整備していくことが重要と考え取り組んでいます。





三浦 みる

勝明 かつあき

学生へのメッセージ！

東北農政局は、国直轄で行う国営土地改良事業の実施のほか、県・市町村等が行う農業農村整備事業や農村振興施策の補助事業など、**希望すれば様々な業務を経験できる職場**です。また、人事異動ではやりたい仕事や家庭の事情等も配慮されますので、**大変働きやすい職場**です！

入 省：38年目／出身地：宮城県名取市

担当業務：防災課は、東北管内の国営総合農地防災事業や県・市町村等が行う農地・農業用施設の災害復旧事業、農地の湛水防止、ため池の改修、地すべり対策、地震・集中豪雨等による災害防止対策などの防災関係の補助事業を所管しており、農村地域の防災力の向上を図るための総合的な防災・減災対策に関する業務を担当しています。

05

係員

係長

専門官・補佐

所長・課長

これまでの仕事で大変だったこと

異動（転勤）のたびに初めて携わる仕事も多く、常に学びながらといった感じで、特に、本省勤務では、事業制度の見直しや財務省への予算要求、国会対応など、農政局では経験することのできない仕事に関わったことが、今では貴重な経験だと思っています。



仕事を行ううえで大切にしていること

課の職員が効率的な仕事ができるよう、的確な作業指示や方針決定を行うよう心掛けています。また職場内のコミュニケーションを図り、仕事をしやすい雰囲気と風通しの良い職場づくりに努めています。

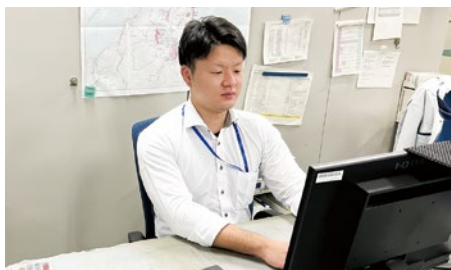


【農政局】入省9年目 秋田県秋田市出身
水利整備課国営係

藤岡 惇さんのある一日

書類作成・チェックなど

国営かんがい排水事業の予算要求、水路や頭首工などの農業水利施設の工事契約手続きや本省からの作業依頼に対応するなど、多岐にわたる業務を行っています。デスクワークだけでなく、地方へ出張も度々あります。



打合せ・決裁

工事の契約に当たり、事業所の職員が作成した書類を審査し、助言・指導するとともに、幹部へ工事内容を説明し、発注の承認を得ます。

打合せではWeb会議を活用し、遠方の職員とも円滑なコミュニケーションをとることができます。



《学生へのメッセージ》

東北農政局では若い皆さんの力を必要としています。これを見て少しでも東北農政局について興味を持っていたら嬉しいです。皆さんと働けることを楽しみにしています。



休日の過ごし方》

ドライブやツーリングが好きで、休日は家に居らず、県外へ遠出していることがほとんどです。また、平日でも年次休暇を取得して連休にするなどし、月に1回は地元秋田へ帰り、友人や家族と楽しく過ごしています。

出勤

通勤の交通手段は主に地下鉄を利用しており、宿舎から職場までの移動時間は約30分ほどです。

その日のスケジュールを頭に入れ、8時30分から勤務開始です。



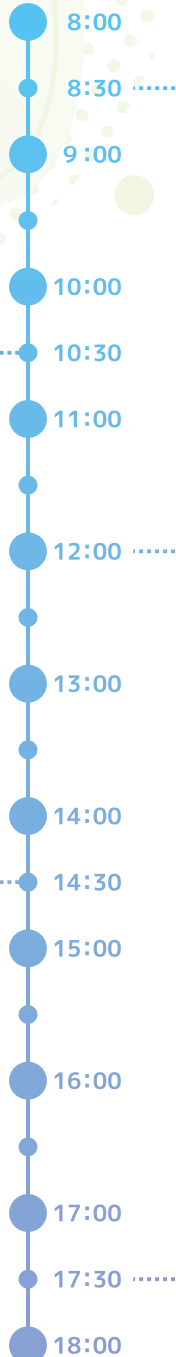
昼食

お昼は、自分で作った弁当とプロテインの日が多いですが、職場の周辺にはたくさんお店があるので、同僚と一緒に外食することもあります。



退勤

時期によっては忙しく、残業することもあります。基本的には定時の17時15分に退勤しています。



出勤

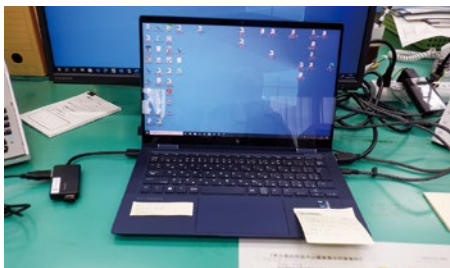
車で通勤しているため、渋滞を考え、早めに家を出るようにしています。出勤してからは、メールをチェックし、今日の予定を決めています。

**昼食**

昼は自宅で作ってきたお弁当を自席で食べています。現場に出た際は近くのお店で食べることもあります。写真は、現場近くで立ち寄ったお豆腐屋さんの田楽定食です。地域の美味しいものを食べられるのも現場事業所での楽しみです！

**退勤**

今日一日を振り返り、できなかったことや今後のスケジュールを確認し、明日やるべきことをまとめておきます。また、新しく導入されたPCは自宅でのテレワークもできるので大雪など明日の天気を見てテレワークにすることも可能です。



【事業所】入省5年目 青森県青森市出身
岩手山麓農業水利事業所調査係

浅利 華澄さんのある一日**現場確認**

当事業所では、老朽化した導水路の改修工事等を行っています。付近には宅地もあり工事の進捗が遅れると近隣住民の方々に迷惑が掛かってしまうこともあるので、定期的に現場に赴き、進み具合や施工に問題がないかの確認を行います。現場で感じた疑問はその場で上司や業者に質問して勉強しています。

**上司に報告・相談**

来年度発注する工事の準備作業を行っており、作業の進捗報告や悩んでいることを相談しています。5年目になると自主的に動くことも多くなりますが、細めに情報共有し、作業で判断に迷うことがあればその都度上司に相談して仕事を進めています。

**《学生へのメッセージ》**

現場に出ると多くのことを経験できます！日々変わる現場で学び、成長しながら楽しく働きませんか？

《休日の過ごし方》

休日はドライブが好きなので、マイカーに乗って県内の道の駅を開拓したり、友人や家族と旅行に行ったりしています。東北は景色が綺麗なところや美味しい食べ物が多いのでドライブのしがいがあり、とても楽しいです。写真は猊鼻溪です。日本百景にもなっており、舟下りをしながらダイナミックな渓谷を見ることができます。



職員紹介



地域整備課

あべ とう や

阿部 柊也

福島県須賀川市出身
福島大卒

業務内容

本省から各県への集落排水施設などの調査依頼と
りまとめ、会議の会場準備や現地施設調査等

学生へメッセージ

農村の生活インフラを整備するやり甲斐のある仕事です！



防災課

くろたき こう

黒滝 晃

青森県つがる市出身
五所川原農高卒

業務内容

予算関係業務、防災情報に関する本省からの調査依頼、災害情報や防災情報の収集、ネットワークシステムの整備、保守運用等

学生へメッセージ

慣れなく難しい仕事が多いですが、先輩や上司が親身になって指導してくださり、心置きなく仕事に取り組むことができます！

05

水利整備課

さとう りょうすけ

佐藤 伶祐

秋田県横手市出身
秋田県立大卒

業務内容

各県等で実施される水利施設整備事業に関する各県への各種調査依頼、打合せ資料の作成等

学生へメッセージ

ダムや水路といった水利施設の維持管理の補助等をしながら、様々な人達と関わる事ができています！



業務内容

広報誌の共有、HP更新作業、SNSの運用、予算関係資料作成、会議の設営・運営の補助等

学生へメッセージ

幅広い業務に携わり、多くの人と関わる事が刺激になっています！指導も手厚く、充実した毎日を過ごしています！



設計課

ねじょう まさこ

根城 雅子

青森県八戸市出身
弘前大卒

入省1年目職員アンケート

令和6年度入省の新人職員に東北農政局での1年間について聞いてみました！

Q1 東北農政局（一般職）志望の決め手は？

- ・自身の育った東北地方で、大学で学んだ知識を活かしてスケールの大きな仕事ができるから
- ・インターンシップで職場の雰囲気が良かったから
- ・当時の採用担当の方が親身に相談に乗って下さり、サポートが手厚かったから

Q2 職場の雰囲気は？

- ・上司・先輩に相談しやすい
- ・課によって色は違うが、若手職員をよく気にかけてくれてとても温かい
- ・若手職員が想像より多いため、分からないことがあった場合に聞きやすい



設計課

おの ひろふみ

小野 熙文

宮城県多賀城市出身
岩手大卒

業務内容

積算や施工に関する調査依頼及びとりまとめ、工事成績評定の通知、積算基準改正等の通知等

学生へメッセージ

業務の中で様々な人と関わることができ、温かい人が多いため、とても充実した生活を送れています！



農地整備課

おかむら ゆうか

岡村 裕加

鳥取県鳥取市出身
北里大卒

業務内容

ほ場整備事業に関わる補助、「田んぼダム」推進活動、スマート農業推進事業等

学生へメッセージ

職場は温かい人たちばかり！また、県営補助を通して県庁や様々な機関の方と携わることできます。



農地整備課

はたけやま よしき

畠山 良輝

秋田県北秋田市出身
秋田北鷹高校卒

業務内容

多面的機能支払交付金に関わる県への各種調査依頼、交付金関係の文書処理、会議資料作成等

学生へメッセージ

上司や先輩が優しく、出張も多いので自分を大きく成長させる学びの機会になっています！

業務内容

国営土地改良事業に関する調査計画、事前評価業務、計画変更業務等

学生へメッセージ

国の仕事だけあって仕事の規模は大きいものばかりです。温かい職場で日々自分の成長を感じています。



事業計画課

さかもと みな

阪本 実菜

京都府京都市出身
岩手大卒

業務内容

ダムや頭首工などの農業水利施設の新設・改修に係る予算関係資料のとりまとめ、工事の予定価格作成等

学生へメッセージ

先輩方から農業水利施設について教えてもらい、日々の学びから成長を実感しています！



水利整備課

なりた そうし

成田 蒼士

青森県中泊町出身
五所川原農高卒

Q3 入省して良かったこと・大変だったことは？

【良かったこと】

- ・ 福利厚生が充実
- ・ 周りの上司だけでなく、研修が多いため組織的にもサポートが手厚い
- ・ 全国に知り合いを作れる

【大変だったこと】

- ・ 独自のシステムに慣れること
- ・ 多岐にわたる業務を覚えること

Q4 休みの日の過ごし方は？

- ・ 職場の先輩や同期、自分の友達と遊びに行く
- ・ 仙台市内外のグルメ巡りや観光
- ・ お家でのんびりしながらテレビを見る
- ・ 旅行に行く

入省

入省後1年間のスケジュール（令和6年度入省者を参考）

4

年次休暇と
合わせて連休OK
休暇制度→P.28

ビジネスマナー
から学べるよ！

5

- ・農業水利基礎養成研修
- ・基礎養成研修【1】
- ・初任技術者研修【基礎】
- ・ゴールドデンウィーク

6

- ・基礎養成研修【2】

全国の同期と一緒に、
農業農村行政や農業農村工学の
基礎を習得！

7

- ・初任技術研修【水管理】
- ・初のボーナス☆

農業農村整備事業について
現職で担当している人が
直接伝授！

8

- ・お盆、夏休み
- ・情報連絡会議
- （係員級）【第1回】

- ・お盆、夏休み

9

農家のお宅へ行き
農業を体験！

東北農政局の係員が集まり、
コミュニケーションをとれる
貴重な機会！

- ・初任技術研修【農村派遣】

10

- ・プレゼンテーション研修
- ・OJT中間報告会

11

- ・情報連絡会議
- （係員級）【第2回】
- ・技術士試験
- ・初任技術研修【実践】

12

研修が充実しているのも東北農政局の強み☆
業務に必要な知識と技術は研修で習得できます！

自分のスキルアップのために
受ける人が近年増加♪

1

2

- ・OJT成果発表会

OJTとは？
→P.27

3

- ・引継ぎの準備

2年目から
国営事業所や
調査管理事務所等に勤務し、
基幹農業水利施設の
更新事業等を担います！



農村派遣（寒河江川地区）



農村派遣（寒河江川地区）



農村派遣（大崎地区）



初任技術研修（実践）千五沢ダム



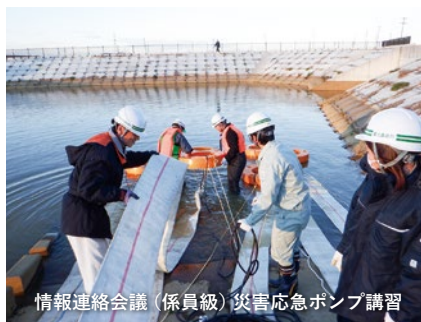
初任技術研修（水管理）新山揚水機場



初任技術研修（水管理）文字二連水車



情報連絡会議（係員級）意見交換



情報連絡会議（係員級）災害応急ポンプ講習



OJT中間報告会



入省2年目以降の 若手職員に聞いてみました！

設問1

東北農政局を選んだ理由を教えてください！

設問2

仕事の魅力ややりがいは？

設問3

入省を考えている後輩にメッセージをお願いします！



菊池 成美

入省6年目 宮城大卒

1 海外への技術貢献
ができると聞き、選
びました。就職先に悩んで
いましたが、今まで大学で
学んだことを活かせること
に加え、人の力になること
ができるような職業をした
かったため、ぴったりだと
思いました。



後藤 健太郎

入省4年目 弘前大卒

2 地元の方から感謝
の言葉をいただいた
ときです。地元の方に喜ん
でいただけるような農業用
排水施設を補修・改修す
るため、時には問題が発生
することもあります。その
課題を1つずつ乗り越え
て工事が完成した際には、
達成感とともに私自身が1
つ成長したと感じます。

3

転勤があるため、
マイナスなイメージ
を持つことがあるかもしれ
ませんが、転勤先で美味し
い食べ物を食べたり、観光
スポットに行けたりと、プ
ライベートの面で充実しや
すいことが良さだと思いま
す！



平野 茉那

入省6年目 小牛田農高卒

1

国営事業の現場を
見学した際、大きな機
械、広範囲にわたる仮設、大
規模な農業水利施設や予算な
ど、「大規模」で「やりがい」
「達成感」のある仕事に魅力
を感じました。また、職員の方
の説明が分かりやすく、その姿
がかっこいい!と思い、自分の
目指す将来像が見えたことも
決め手でした。



附田 琴子

入省3年目 北里大卒



降幡 涼介

入省4年目 山形大卒

2 工事を行ったこと
で壊れていた施設が
きれいに直っているのを見
ると、仕事にやりがいを感
じます。また、東北管内を
数年おきに異動すること
になるので、行ったことのな
い地に住むことができるの
も魅力の1つです。



佐藤 凌

入省2年目 秋田北鷹高卒

3 国の大規模な事業
に携わり、日本の農
業を支える一端を担えるや
りがいの大きい仕事です。
仕事内容や環境に不安もあ
ると思いますが、インター
ンシップや業務説明会等、
入省に係るサポートが充実
しておりますので、興味が
あればぜひ検討してみてください。

1

東北農政局のイン
ターンシップへの参
加や、障がい者の方とふれ
あうアルバイトの経験か
ら、半農半Xや農福連携を
通して、「どんな人も生き
がいを付けられる社会
を、農業を通して創りたい」
という想いを、生まれ
育った東北で達成したいと
考えたためです。



佐藤 愛笑

入省2年目 岩手大卒

2

市や県よりもス
ケールが大きく、国
の仕事ならではの責任感
を持って仕事ができること
です。普段何気なく見ていた
水路などの農業水利施設が
改修される過程を、自己の
技術的支援・経験をもとに
各種課題に対応しながら進
めていくことは、とてもや
りがいに感じます。



益田 達也

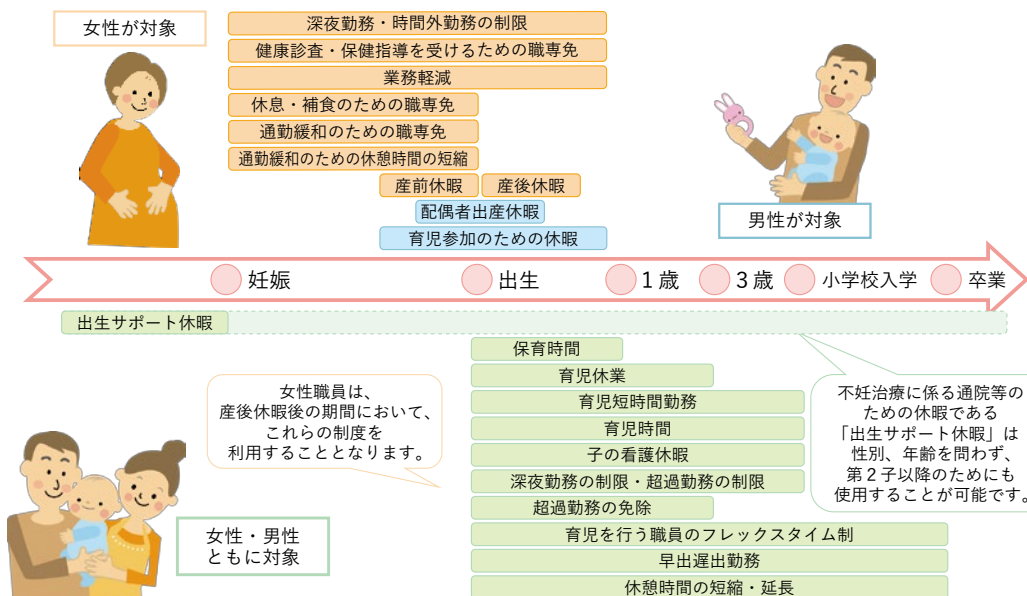
入省3年目 五所川原農高卒

両立支援制度

ワーク・ライフ・バランス（『仕事』と育児や介護、趣味や学習、休養、地域活動といった『仕事以外の生活』との調和をとり、その両方を充実させる働き方・生き方）を実現するための様々な支援制度が用意されています。

【妊娠・出産・育児支援】

妊娠・出産・育児に関する制度の利用可能期間

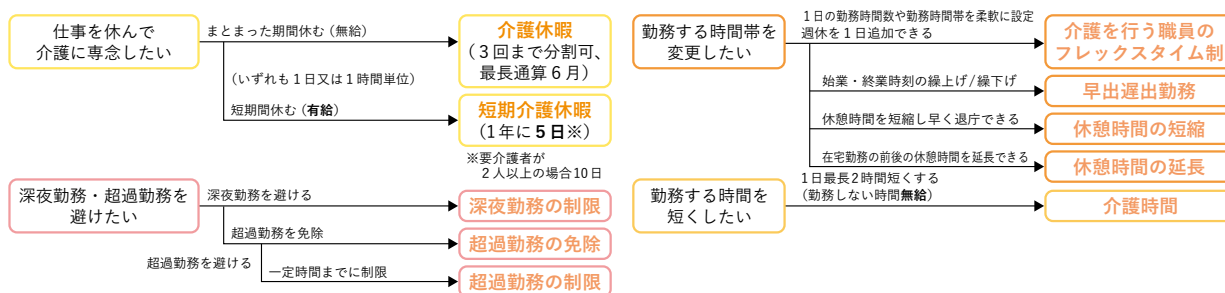


【介護】

両立支援制度の概要（介護）

目的	両立支援制度	制度の概要
介護		※詳細については、所属機関の人事担当にもご確認ください。
◎ 介護休暇		要介護者の介護を行うための休暇（通算6月。3回まで分割可。）（異なる要介護状態になった場合には再取得可）
◎ 介護時間		要介護者の介護を行うための休暇（連続3年の間に1日2時間まで）（異なる要介護状態になった場合には再取得可）
◎ 短期介護休暇		要介護者の介護を行うための休暇（年5日（要介護者が2人以上の場合は10日））
◎ 介護を行う職員のフレックスタイム制		要介護者の介護を行うため、総勤務時間数を変えずに、日ごとの勤務時間数・勤務時間帯を変更すること
◎ 早出遅出勤務		要介護者の介護を行うため、勤務時間帯を変更すること
◎ 深夜勤務の制限		要介護者の介護を行うため、深夜に勤務しないこと
◎ 超過勤務の免除		要介護者の介護を行うため、超過勤務しないこと
◎ 超過勤務の制限		要介護者の介護を行うため、1月につき24時間、1年につき150時間を超えて超過勤務しないこと
◎ 休憩時間の延長		要介護者の介護を行うため、休憩時間を延長すること（休憩時間の直前又は直後に在宅勤務を行うときに限る）
◎ 休憩時間の短縮		要介護者の介護を行うため、休憩時間を短縮すること

介護に関する制度のフローチャート



【その他】

配偶者同行休業：外国で勤務する配偶者と外国において生活を共にする休業（3年を超えない範囲内の期間）

自己啓発等休業：大学等における就学又は国際貢献活動のための休業（2年（就学）又は3年（国際貢献活動）を超えない範囲内の期間）

出展：人事院一妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援のページー妊娠・出産・育児・介護と仕事の両立支援ハンドブックより

※全ての国家公務員に適用される両立支援制度については、人事院のHP (https://www.jinji.go.jp/ikuzi/ryouritsu_toppage.html) をご覧ください。



東北農政局農村振興部事業計画課
補助事業係長 (H16入省)

後藤 史江

利用した制度：健康診査（妊婦検診）のための休暇、産前産後休暇、育児休業、育児時間、子の看護休暇、フレックスタイム制、早出遅出勤務

Q 結婚・出産による働きやすさはどうですか？

勤務地について結婚後から配慮していただけていますが、育児休業からの復帰後は、特に勤務時間に関わる様々な制度に助けられています。

大人の勤務時間に合わせた生活で子供が体調を崩してしまったため、保育園入園後半年ほどは育児時間を、小学生になった現在はフレックスタイム制や早出遅出勤務を利用し、大人も子供も無理のない生活ができています。

Q 子育てと仕事を両立する中で、仕事をする際に心がけていることはありますか？

子供の体調によっては、突然かつ長期の休暇が必要となることがあるため、仕事は先送りせず、早め早めの対応を心がけています。しかしながら、子育てと仕事の両立は自分一人が頑張って何とかできるものではなく、家族や職場の理解と支えがあってこそのもので、周囲への感謝の気持ちを忘れないようにしています。



東北農政局農村振興部水利整備課
国営第1係員 (H30入省)

笹森 洋一

利用した制度：配偶者出産休暇、育児休業

Q 取得の概要は？

長男の出産前後数日と退院後から約1か月、休暇を取得しました。妻の妊娠が分かった段階で上司に相談したところ、休暇を取得できるようすぐに調整が進み大変ありがたかったです（沢山の先輩方から実体験に基づくアドバイスを賜りました…！）。

男性職員対象の休暇制度は様々ありますが、庶務担当の方から取得可能な休暇について分かりやすく説明して頂き、計画的に休暇を取得することが出来ました。

Q 制度を利用しての感想

初めての夜泣き（全然泣き止まない…泣）は大変でしたが、休暇中は私が夜間の世話をすることにして、妻とお互いまとまった睡眠時間を確保できたので良かったです。子供が生まれると病院や役所、買い物と色々やる事がありますが、休暇制度を利用し平日に用事を済ませることが出来て助かりました。

私自身、就職先を決める際は将来の家族の事まで考えておりませんでした。いざ家族ができると、充実した休暇制度は安心して働き続ける上でとてもありがたいです。

新しい働き方制度

- コロナ禍により、IT技術を活用した新しい働き方が一気に普及しました。東北農政局でもテレワークやWeb会議は「当たり前」になりました。
- ICT技術を活用したりリモート監督を積極的に導入し、業務の効率化に取り組んでいます。

テレワーク

東北農政局では、誰でもテレワークを導入できる環境が整備されています。職場のPCを持ち帰り、自宅のインターネット環境から、職場と変わらない環境での業務が可能である上、通勤時間を削減できます。

感染症対策に加えて、ワークライフバランスの側面でもテレワークは有効です。テレワークを有効活用できるように、業務内容の見直しを実施しています。



Web会議

事業の計画や評価など外部有識者からの意見聴取の会議のほか、全国会議や東北管内の関係者会議など、これまでは一堂に会して実施していた会議をWeb会議で開催しています。

リモート監督

ウェアラブル端末を利用したリモート監督の取組も進められています。

実際の現場の状況をリアルタイムで確認できます。情報の共有や施工技術等の習得にも有効なツールとなっています。

研修制度

農業・農村の振興と発展に貢献するために必要な基礎的・専門的知識やスキル等の習得を目的とした研修及び講習会を実施し、技術力の向上や技術者の育成に積極的に取り組んでいます。

各研修等はキャリアステップに合わせた時期を計画し、OJT※と連携させて効果的な人材育成を目指しています。

※OJTとはOn the Job Trainingの略称

職場内研修の意で、業務を通じて、必要な知識の習得及び仕事に対する意欲の向上のための指導を行います。（東北農政局では採用1年目から5年目まで実施）

人材育成



係 員	係 長	専門官	課長・支所長
行政技術研修 基礎技術研修 【1年目】 ・基礎養成 ・農業水利基礎養成 ・初任技術 ・農村派遣 等 実践技術研修 【入省5年以内】 ・施設機械 ・施工管理 ・事業計画 ・開水路・パイプライン 等	中堅技術研修 【係長昇任後5年以内】 ・農村振興係長 等	実践技術研修 【専門官昇任1年目】 ・事業推進 等	行政技術研修 【課長等昇任後2年以内】 ・工事課長 等
実践技術研修 【入省20年以内】 ・事業管理 等			
専門技術研修 【入省2年目以降】 ・ダム機能保全Ⅰ ・ダム機能保全Ⅱ ・水利システム ・土质地質 ・ため池防災・減災技術 ・施設安全管理 ・農村防災・減災 ・技術指導者 ・電気設備 ・用水計画・河川協議 ・農村計画・地域資源 ・生態系保全 ・経済効果Ⅰ ・経済効果Ⅱ 等			
OJT （採用1年目から5年目まで実施）			



実践技術研修（ストックマネジメント）
現地実習（機能診断調査）



実践技術研修（施工管理基礎）
現地実習（配筋検査）

Q 勤務地は？

東北農政局本局（仙台市）または東北6県の事業所に配属されます。

本人の適性と希望等に基づき、農林水産省本省（東京）や各地方農政局（関東・北陸・東海・近畿・中国四国・九州）、さらに他省庁や海外での勤務の機会も開かれています。

**Q 初任給は？**

基本給（2025年入省の場合）

一般職（大卒） 初任給 **220,000 円**

一般職（高卒） 初任給 **188,000 円**

○手当：基本給に加え、該当者には扶養手当・通勤手当・住居手当・超過勤務手当・地域手当も支給されます。

○賞与：期末勤勉手当（いわゆるボーナス）が年2回支給されます。

○昇給：年1回

Q 入省後の仕事は？

仕事の内容は、配属先により異なります。

本局（仙台市）では、デスクワークが主体となります。農政を推進する仕事を通して、行政の基礎を学びます。

事業所では、設計・積算・工事監督などの現場業務が主体となります。国が行う直轄事業の実施を通じて、現場に必要な技術を学びます。

Q 勤務時間・休暇は？

平日 **8：30～17：15（7時間45分）**

昼休み/12：00～13：00

休日 **完全週休二日制（祝日も休日）**

○時間差出勤の導入

仙台市内の勤務の場合は、通勤事情により以下の時間から勤務時間を選択できます。

出勤時間 8：30～17：15

9：00～17：45

9：15～18：00

○年次休暇

入省初年度は年間15日、2年目以降は20日。日数は最大20日まで翌年に繰り越し可能で、年間最大40日の休暇が取得可能になります。

○その他

年次休暇に加え、結婚休暇（5日）・夏季休暇（3日）・病気休暇などが制度化されています。

**Q 残業は？**

仕事に集中すると残業して処理する場合があります。

残業時間は、配属先により異なりますが、残業が減るように効率的な業務改善に取り組んでいます。

**Q 人事異動・転勤の頻度は？**

人事異動は、本人の適性や希望等を考慮した上で、平均2～3年の間隔で行われます。

人事異動は、様々な業務を経験し、多くの知識と能力を身につけてもらうために行われます。人事異動には引越しを伴うものもあります。

**Q 宿舎は？**

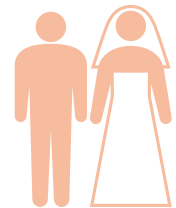
独身用・世帯用宿舎が設置されています。

○宿舎等施設

勤務地の住居として、宿舎が用意されています。希望者は入居することができます。

○福利厚生施設

国家公務員共済組合制度により、全国に医療機関や宿泊・保養施設が設置されており、利用することができます。



採用試験は、人事院で実施する試験（筆記試験、面接試験）に加え、各省庁で実施する面接試験を実施します。人事院試験を合格すると、採用候補者名簿に登録されます。面接等の試験によって、採用候補者の中から採用内定者を決定します。

一般職試験の概要

大卒程度（2025年度）

1995年4月2日～2004年4月1日生まれの人

（2004年4月2日以降生まれの人で大学卒業及び卒業見込み、短大（又は高等専門学校）卒業及び卒業見込みの方等も受験可）

	試験種目	解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 （多肢選択式）	1時間50分	2/9	30題 知能分野24題 文章理解⑩、判断推理⑦、数的処理④、資料解釈③ 知識分野6題 自然・人文・社会に関する時事、情報⑥
	専門試験 （多肢選択式）	3時間	4/9	40題 数学③、水理学④、応用力学④、 土壌物理・土質力学②、 測量②、農業水理学・土地改良・農村環境整備⑬、 農業造構・材料・施工⑦、農業機械②、農学一般③
	専門試験 （記述式）	1時間	1/9	1題 農業農村工学に関連する領域
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、対人的能力などについての個別面接

※○数字は出題数

高卒程度（2024年度）

高校（又は中等教育学校）卒業見込み及び卒業後2年以内の人（中学卒業から2年以上5年未満の方も受験可）

	試験種目	解答時間	配点比率	内 容
第1次試験	基礎能力試験 （多肢選択式）	1時間30分	2.3/9	40題 知能分野20題 文章理解⑦、課題処理⑦、数的処理④、資料解釈② 知識分野20題 自然科学⑤、人文科学⑧、社会科学⑥、情報①
	専門試験 （多肢選択式）	1時間40分	4.7/9	40題 農業土木設計⑬、農業土木施工⑩、水循環⑥、測量④、 農業と環境・農業と情報⑦
第2次試験	人物試験		2/9	人柄、対人的能力などについての個別面接

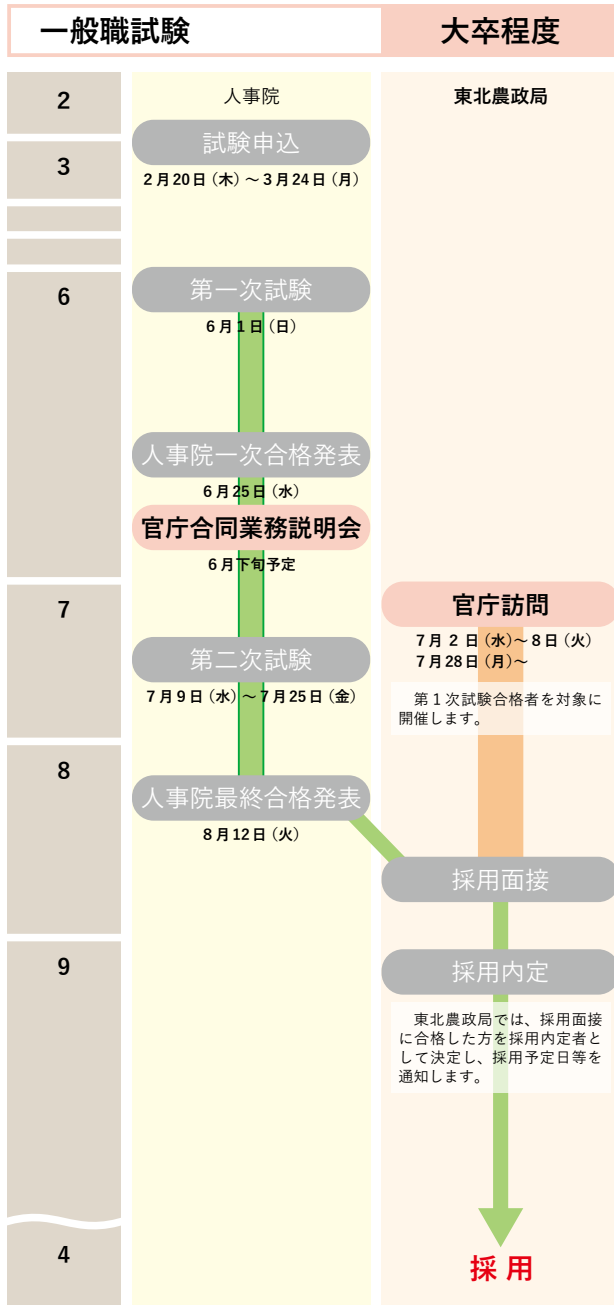
※○数字は出題数

令和7年度の採用スケジュール

大卒程度のキミは
「**農業農村工学**」
を選択！



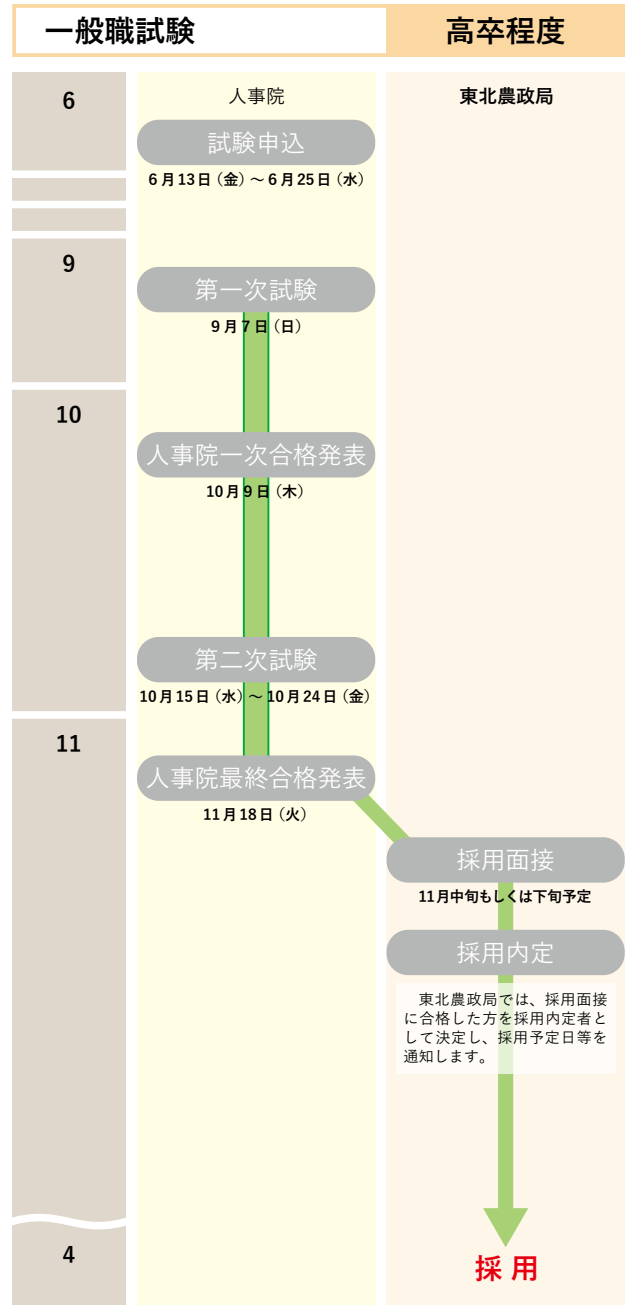
2025年度



高卒程度のキミは
「**農業土木**」
を選択！



2025年度



●試験日程や採用予定者数など採用に関する最新情報

国家公務員試験採用情報 NAVI
<https://www.jinji.go.jp/saiyo/saiyo.html> ⇒



人事院東北事務局ホームページ
<https://www.jinji.go.jp/touhoku/> ⇒



大卒程度採用者に聞きました

志望動機は？

- 自分自身が大学で学んだ専門知識を活かせる農政局に就職したいと考えたから
- インターンシップに参加した時に、規模が大きくやりがいがある仕事だと感じ志望した
- 地元を含む農業基盤や農業基盤整備に興味があったから
- 社会の奉仕として仕事をする事ができるから

Q. 平均点は？

(2024年度)

区分	基礎能力	専門(多岐選択)	専門(記述)
満点	30	40	8
基準点	9	12	3
平均点	18.794	18.892	5.697
基準偏差	3.866	5.603	1.417

筆記試験

(1次試験)

Q. 準備期間は？

平均
11.1ヶ月

基礎能力試験

Q. 試験対策は？

- ・過去問をひたすら解き、問題のパターンをつかむようにした
- ・大学で行われた公務員講座に参加し、対策を学んだ
- ・試験時間が短く、問題数も多いことから1問にかかる時間を短くした
- ・模試を受け、できなかったところを復習した

Q. 重点科目は？

- ・数的推理
- ・判断処理
- ・文章理解
- ・時事

Q. オススメの参考書は？

- ・過去問500シリーズ
- ・畑中敦子の数的推理・判断推理 The best NEO
- ・公務員講座のテキスト

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・難易度は高くないと感じた
- ・緊張してしまい、1問にかかる時間が長くなってしまったことで時間が足りなくなってしまった
- ・数的推理が思ったより難しく、時間がかかってしまった

Q. 試験対策は？

- ・大学で公務員対策勉強会があり、それに参加していた
- ・公務員講座
- ・重要箇所をノートにまとめ、過去問をたくさん解いた
- ・参考書を何度も解いた

Q. オススメの参考書は？

- ・農業農村工学必携
- ・スーパー過去問ゼミ土木
- ・農業農村白書
- ・学校で配布された教科書
- ・過去問

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・計算問題が難しく、解くのに時間がかかってしまった
- ・しっかりと学習したので、比較的簡単だった
- ・文章問題は比較的簡単だった

Q. 重点科目は？

- ・水理学
- ・土質力学
- ・農業農村工学分野
- ・構造力学

専門試験

面接試験 (2次・採用)

Q. 試験対策・心がけたことは？

- ・公務員講座での面接練習
- ・訪問調書の内容を充実させ、想定問を作って面接練習していた
- ・簡単に答えられることでも、一度頭の中で整理して話すように心がけた
- ・面接官に、自分の伝えたいことをしっかり伝えられるように話す
- ・相手の目を見てハキハキと大きな声で受け答えをすることを意識していた

参加したイベントは？

- ・インターンシップ
 - ✓東北農政局に入省したいという思いが強まり、結果として試験対策のモチベーションアップにもつながった。
 - ✓職場の雰囲気や業務内容を知ることができ、働くイメージがしやすくなった。
- ・合同説明会・業務説明会
 - ✓農政局とはどのような仕事をしているのか、どのような人材を求めているのかを知ることができた。
 - ✓直接採用の話も聞けて参考になった。



高卒程度採用者に聞きました

志望動機は？

- 高校で学んだ農業土木の専門的な知識や技術を活かせる仕事に就きたいと考えていたから
- スケールの大きな仕事ができることに魅力を感じたから
- 農家の方々が安心して作物を生産できる環境をつくり、農家の方々の助けになりたかったから
- 異動を通して様々な地域の現状を把握することができるから

Q. 平均点は？

(2024年度)

区分	基礎能力	専門(多岐選択)	専門(記述)
満点	40	40	6
基準点	12	12	3
平均点	17.994	17.078	4.098
基準偏差	5.118	6.807	0.768

筆記試験 (1次試験)

Q. 準備期間は？

平均
10.6ヶ月

基礎能力試験

Q. 試験対策は？

- ・過去問をひたすら解き、自分の得意・不得意分野、問題の傾向や解き方を把握し、問題に慣れるようにした
- ・苦手な問題よりも得意な問題を重点的に繰り返し解いた
- ・学校内の公務員試験勉強会に参加していた
- ・学校外の講習会に参加し、問題の解き方を学んだ

Q. 重点科目は？

- ・数的推理
- ・判断処理
- ・文章理解
- ・社会の出題数が多い科目

Q. オススメの参考書は？

- ・過去問(人事院HPに掲載)
- ・学校で配布された過去問集
- ・国家公務員・地方初級オープンセサミシリーズ
- ・公務員講座のテキスト

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・過去問と同様の難易度であると感じた
- ・難しい問題があり、時間配分が重要だと感じた
- ・判断処理、数的推理に苦労した

Q. 試験対策は？

- ・過去問を何度も解いて、出題の傾向を把握していた
- ・得意な問題を重点的に勉強した
- ・学校外の講習会があり、それに参加していた
- ・学校内で開かれる公務員試験勉強会に参加していた

Q. オススメの参考書は？

- ・人事院HPに掲載されている過去問
- ・学校で配布された過去問集

専門試験

Q. 試験を受けてどう感じた？難易度は？

- ・過去問と同様の難易度であった
- ・難しい応用問題に時間をかけず、基本的な問題を確実に解く力が必要だと感じた
- ・基本的な問題が多く出題されている印象だった

Q. 重点科目は？

- ・水理学
- ・構造力学
- ・土質力学
- ・土木工学
- ・測量

面接試験 (2次・採用)

Q. 試験対策・心がけたことは？

- ・学校の先生方と面接練習、相談を行う
- ・言葉に詰まらず、分からないことは素直に分からないと言えるようにする
- ・難しいことを話そうとせず、面接官の目を見ながら焦らずゆっくりと話すことを意識していた
- ・緊張しないよう、何度も面接練習をして慣れるようにした

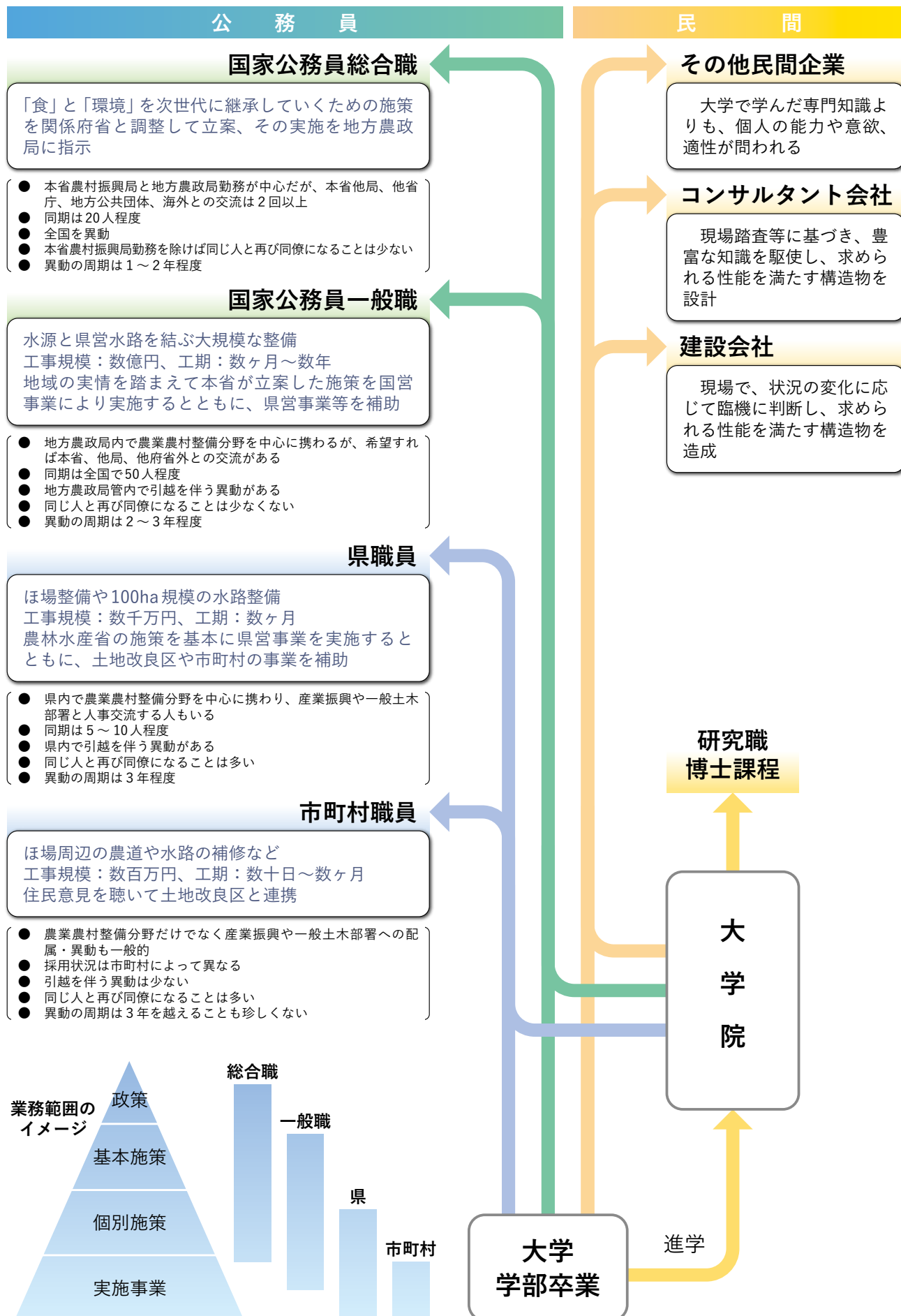
人事院HP



参加したイベントは？

- ・業務説明会
 - ✓業務内容や職場環境について、気になることを直接質問することができ、抱えている不安を解消できる良い機会となった。
 - ✓より一層東北農政局について興味を持つきっかけとなった。
- ・授業による事業所見学
 - ✓大まかな仕事内容を理解でき、実際に働いている職員の方々から具体的な話を聞くことができた。

農業農村工学を活かせる環境はさまざま、自分に合った進路を選ぼう





[contact] 東北農政局農村振興部設計課
〒980-0014 仙台市青葉区本町3丁目3番1号
TEL 022-263-1111 (代表) MAIL: tohoku_saiyou@maff.go.jp



だいちとみどりの探検隊

農林水産省公式▶YouTubeチャンネルBUZZMAFFの1チームの『だいちとみどりの探検隊』では、東北管内の土地改良施設の歴史や技術などを紹介する動画を公開しています！

ドローンによる美しい風景や普段は見られない施設の内部など、見所満載の映像を配信中です！

秋田県大潟村 大潟村干拓博物館、南部排水機場

これが八郎潟干拓！

宮城県大崎市 岩堂沢ダム

ダム博士 ちゃん

岩手県花巻市 豊沢川ダム洪水吐ゲートの製作

製作現場紹介

『だいちとみどりの探検隊』の動画は、▶YouTubeにて好評配信中です！
アクセスはこちらから→

BUZZ MAFF (ばずまふ) とは？

農林水産省職員自らが、省公式YouTubeチャンネルでYouTuberとなるなど、担当業務にとらわれず、その人ならではのスキルや個性を活かして、我が国の農林水産物の良さや農林水産業、農山漁村の魅力を発信するプロジェクトです。

農林水産大臣が名誉編集長！



採用案内HP

©2025 東北農政局農村振興部設計課